

いの流水俳壇

松尾 満津於 選

兼題「古暦」(当季雑詠)

政権の交替もありて古暦

友草 水月

(評)新しく暦が配られるとこれまでの暦は古暦となるが、年の暮れるまではまだ古暦にも用がある。古暦にはいろいろと仕事のこと家族の健康、その年の町、地域の行事、必要な連絡先、電話番号等日記替りに使用されており、その年の集大成としてまとめられた古暦である。旧年中には特に日本の将来を運命づける選挙があり、政権交替が行われ必ずしも平穏な一年ではなかった。何年か先になると或いは重要な指針となる暦であるのかも知れず、軽々に始末のできない古暦。

娘の部屋に貼られしままの古暦

竹崎 光子

(評)壁に貼られたままになっていく去年の暦。娘の友人の名前や、過ぎ去った一年分の行事、その他、そのときの感情の動き等、娘の子らしい書き込みがしてあるのだろう。ともすれば、親に見られたくない記事があるかも知れない。なほ蛇

足を加えるなら、過去一年の喜怒哀楽のすべて記録された古暦。

思い出すことも供養よ古暦

井上 郁子

(評)古暦の中の故人のことを思い出しているのである、それがこの句の作者と、どんな関係にあるのか判らないが「思い出すことも」と云ったところからすれば或いは、それ程近い関係にある人のようにも思えない気もする……、「思い出すよじや惚れよがうすい、思い出すより忘れずに」という俚諺があるが、この句の場合ほどのように受け留めればよいのか、或いは身内からは遠い存在では……。いずれにしろ故人を偲ぶという供養は人生にとって、大切であることに間違いはない。

木の葉髪愚痴云える人もう居ない

津田 久美

(評)この句には、どこか一抹の淋しさが籠っており、内容が清潔でロマンチックな密度を持っている。夫に先立たれた妻の、切実でぬぐい難い悲しみが吐露されている。いつまでも齢を加えることのない夫の遺影、私を遺して何故そんなに先を急ぐの?…。愚痴を聞いてくれる夫はもう居ない。

心急ぐ事も齢や十二月 岡本とも子

気負いても卒寿の近し落葉焚く 片岡 包女

ははを抱きちちを隠して山眠る 植田 紀子

いろ分けのメモある老の古暦 刈谷 志津

人生を二人で歩んだ古暦 森岡 照月

古暦燃やせばやなこと消えるかも 間 浩太

古暦阿修羅となりて戦後生き 大川 節弥

ひととせのあまりに早し古暦 川村 博子

からす瓜右往左往の小鳥かな 筒井 正子

忘れじとメモ書きありし古暦 弘瀬うき子

ふる里をはなれて久し冬北斗 伊藤 萩甫

一年を喜怒哀楽の古暦 竹崎たかひろ

童顔の地蔵は何歳古暦 松尾満津於

次 題 「当季雑詠」
締め切り 毎月第2月曜日

投句先

吾北教育事務所 上八川甲2010

☎ 867-2133

募集

2010年度

高知短期大学 学生募集

本科「社会科学科」(2年制・夜間) 社会人学生募集 (後期)

受験資格

高卒又はそれと同等と認められた方で22歳以上の方

選考方法

自己推薦書と面接

出願期間

2月12日(金)～19日(金)

11時～19時

試験日(面接)

2月28日(日) 13時～

受験料

18,000円

入試説明会

2月8日(月) 18時～

高知短期大学2階会議室

(申込不要)

問い合わせ

高知短期大学学生課

☎ 873-2159

(受付時間 14時～19時)

ホームページ

(<http://www.kochi-wu.ac.jp/kic/>)